

長岡京市第三期環境基本計画

令和4年3月
長岡京市



長岡京市
2022 市制50周年

市の鳥「メジロ」

はじめに

長岡京市は令和4年度に市制施行50周年を迎えます。この間、まちの発展とともに社会のあり方が変わる中で、環境面においても様々な取り組みを行ってまいりました。平成13年3月には、環境基本法の趣旨を踏まえ、本市の環境施策の基本的方針を定めた環境基本計画を策定し、将来都市像として「つむぎ織りなす“環境の都”長岡京」を掲げました。平成21年4月には、市における政策の策定、実行の中心に「環境」を位置付ける姿勢を明確にするため、「環境都市宣言」を行い、平成25年3月には、第二期環境基本計画への改定を経て、市民・団体・事業者等とのパートナーシップのもと、様々な取り組みを着実に進めてまいりました。



第三期環境基本計画への改定にあたっては、こうした取り組みの機運を「継承」とともに、気候変動や海洋プラスチック問題など、近年その深刻さが一層浮き彫りとなった多くの環境課題に対処するため、より「発展」した取り組みが求められます。

気候変動については、2015年に「パリ協定」が採択され、国際社会がその問題への対策を加速度的に進めています。長岡京市としましても、この問題に対処するため、市として、「2050年ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。ゼロカーボン社会の達成のためには、これまでの常識からの転換が必要とされていますが、新型コロナウイルスを契機とする「新しい生活様式」という考え方は、気候変動をはじめとする様々な環境問題にも当てはまるのではないのでしょうか。食品ロスやプラスチックごみの削減、生物多様性の保全、グリーンインフラの活用など、課題は様々ありますが、いずれも確実に取り組みを進めていく必要があります。

また、環境面の取り組みを進めていくにあたっては、環境面のみならず、経済面、社会面を含めた統合的な向上を目指すことが重要です。そのことは、2015年の国連サミットにおいて採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」の理念にも通じるところであり、第三期環境基本計画では、そのような分野横断的な視点も重要視しています。

さらに、今回の計画には、平成23年3月に策定しました、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を併合するとともに、新計画として、気候変動の影響下においても暮らしを守るための「気候変動適応計画」の内容も盛り込むことで、一体的に施策を進めていけるようにしています。

第三期環境基本計画への改定にあたって、長岡京市生活環境審議会をはじめとする多くの方々のご協力をいただきました。ここに感謝申し上げますとともに、長岡京市が、真に持続可能な社会へと歩みを進める決意を述べ、あいさつとさせていただきます。

令和4年3月

長岡京市長 申小路 健吾

目 次

第1章 長岡京市環境基本計画の基本的事項	
1 計画の位置付け・期間・各期計画の成果イメージ	2
2 環境の範囲	4
3 環境面から目指すべき将来都市像	5
4 持続可能なまちづくりの基本理念	6
5 “環境の都”長岡京市環境都市宣言	7
第2章 環境をめぐる国内外の動向と気候変動の現状・今後	
1 環境をめぐる国内外の動向	10
2 気候変動の現状・今後	15
第3章 長岡京市の環境づくりの取り組みと課題	
1 これまでの成果	26
2 取り組みの現状と課題	28
第4章 基本施策（柱）	
柱1 気候変動対策（緩和・適応）	34
柱2 資源循環	37
柱3 環境共生	39
柱4 都市環境	41
第5章 分野横断的視点及び施策	
視点1 ゼロカーボン社会を目指し、環境に優しく地域経済が循環するまち	47
視点2 環境と調和のとれた新たな地域の魅力を創造するまち	50
視点3 エコライフと暮らしやすさを両立するまち	53
視点4 持続可能な未来を築く人が育ち・学び・人がつながる環境の都	56
第6章 人結び・SDGsモデルプロジェクト	59
第7章 計画の推進	
1 計画の実行体制	66
2 計画の進捗管理	68
第8章 資料編	
1 現況データ等	70
2 温室効果ガス排出量の算定手法	80
3 長岡京市第三期環境基本計画策定のためのアンケート調査の結果	87
4 策定経過等	113